

◆今月の言葉◆ 「1にも、2にも、3にもパッション。」・・・・・・・・・・ 蕨 豊 (金沢21世紀美術館)

青木塾講演再録 2013年6月13日(木) 小山台会館にて

## 相続税 = 争続税? or 愛続税?

「争」と「愛」、これはどういう意味か?ということですが、よく聞くのは「争う」方ですよね。もう一つの「愛」。私はこの名前にしたいんです。なんで「愛」というと相続の「相」は「あい」と読みますよね。こういう形にすれば、みなさんも相続税を納める気にもなるだろうし、理解も深まるのではないかと思いました。

相続は本当にトラブルが多いです。それは、対親族ではなく、税務署もトラブルが多いです。具体的には、一般の税務調査は確率的に申告した方の4人に一人はもれなく税務署がついてきます。死人に口なしで被相続人(亡くなった方)は説明してくれないので、我々がしなくてはなりません。今日は時間がないので詳しく話せませんが、レジメを読んでいただければ基礎の基礎はわかるようになっています。

### やっていただきたい2つのこと

今日の話の結論は、二つです。一つ目は『財産一覧を作ってください』です。亡くなってしまうと結局お子さんたちに伝わりません。自分の財産はどんなものがあるのかということを残されたお子さんはわかっているようでわかっていないです。これは私が一番苦労するところです。土地や建物は見ればわかりますが、生命保険や預金などは目に見えませんし、ましてや美術品、食器、家具などになってくるとお父様、お母様にとってはものすごく価値のあるものだけでも、我々にとってみれば何でもないものと思うことも十二分にあります。この財産には大きく分けて二つあります。一つはもらって嬉しいもの。もう一つは、もらって嬉しくないもの、つまり借金や連帯保証人になっているかなども書いていただきたいです。PCを使うと誰が作ったのかわからなくなってしまいますので、私としては手書きの方がありがたいです。二つ目は、『遺言書を書いていただくこと』です。資料の中に、ある本の雛型を載せていますので、まずはこれ

を基に作ってみてください。特にご両親が健在で、相続を考えなくてはいけないという方ですが、「おやじ悪いんだけど遺言書を書いてくれ」というと「お前、俺を殺す気か」となってしまうので、そうではなくて、お父様、お母様に書いてもらう時は、遺言書の最後の方にある【付言事項】(私の人生は妻と子供に恵まれて幸せでした〜)ここを必ず書いてもらいたいです。といいますのも、恥ずかしくて言えないことをここでは書けるんです。そして公証役場に預けると手書きのものではありませんが、ずっと残ります。言葉自体が残るので伝わりやすいです。ですので、これを書くということを前提に一緒に遺言書を書くという形でご両親にも書いていただくことをお勧めいたします。



今回の講師

税理士 添田 一機  
特定社会保険労務士・宅地建物取引主任者

★税理士クイズ!

<1問目>税理士という資格は世界でどのくらいあるか?

①全世界中どこにでもある ②10か国未満  
③国連加盟国中、約150か国

<2問目>弁護士バッチはひまわりですが、税理士バッチは?

①つつじ ②菊 ③桜

<3問目>平成27年1月1日から相続税の基礎控除額は5000万円からいくらに変わるか?

①2000万円 ②3000万円 ③4000万円

答え 1問目:②(ドイツ、オーストリア、韓国、中国、アメリカの5か国) 2問目:③ 3問目:②

## 法律入門のための大人の童話

楓 法律事務所  
弁護士 浜田 脩

～シンデレラストーリー～

山下みずほさんは東京近郊のある町でお母さんと二人暮らしをしています。みずほさんは40代半ばになりますが小さい頃から少しおっとりしたところがあり、

両親に頼って生活せざるを得ませんでした。そんなことから、みずほさんはずっと生まれた家で暮らしてきました。みずほさんのお父さんは、5年前に病気で亡く



なりました。お父さんはとても正義感が強く、曲がったことが許せない性格の人でした。間違っていると思ったことがあればはっきり主張し、受け入れられなければ裁判も起こしました。お父さんが起こした裁判は1つや2つではありません。みずほさんの家の周りにはみずほさんと同じ姓の家が沢山あります。これらの家はかつては親族関係にあったようで、そのためかそれぞれの土地の範囲も曖昧なところがあります。お父さんは自分が亡くなった後みずほさんとお母さんが土地の関係で不利にならないように、自分の目の黒いうちに権利を明確にしておきたかったようです。ただ、お父さんが必死に守ろうとしてきた家も今ではいつ崩れ落ちてもおかしくない、バラックのような状態になっていました。

ところで、お父さんの曲がったことがゆるせないという性格は一人の老人の身を守ることにもなりました。みずほさんの家族は山本コウさんというおばあちゃんと親しい付き合いをしていました。山本さんは土地や貸アパートを沢山持っている資産家でしたが、一人暮らしで亡くなったあとにその財産を受け継ぐ人がはっきりしていませんでした。ある日、山本さんの財産を自分のものにしようと考えた親族の一部が山本さんを拉致しようとしたことがありました。山本さんを知らないところに連れて行って、贈与契約書でも遺言書でも書かせようと思ったのでしょう。その現場をたまたまみずほさんのお父さんが見ていました。お父さんは事情をなんとなく理解して、高齢の山本さんの体を心配し、その親族らに向かって行きました。相手は複数ですから、暴力沙汰にでもなればお父さんも無事では済まないかもしれません。しかし、お父さんは親族らの卑怯な行いが許せず、山本さんの身を案じてその一団に向かって行ったのです。お父さんの迫力に圧倒されたのか、その親族らは山本さんを連れ去ることを諦めました。山本さんはお父さんの勇気と行動にとても

感謝しました。高齢の山本さんにとっては、お父さんは命の恩人といっても過言ではありません。山本さんはお父さんへの感謝の気持ちを表すために、自分が死んだ時に全財産をお父さんに遺贈したいと申し出ました。お父さんは血のつながりのない山本さんから財産を貰ういわれはないと断りました。しかし山本さんから誰かに受け取って貰わなければ、自分の財産の一部は拉致しようとした親族に相続されてしまうと懇願されました。そこでお父さんは、自分ではなく娘のみずほさんに遺贈してもらうということで山本さんの提案を受け入れました。山本さんの財産は自宅の土地建物の外に、貸駐車場、貸アパート等の不動産や多額の銀行預金もありました。みずほさんはそれら全てを遺贈されることになったのです。今にも崩れ落ちそうなバラックに住んでいた女性が、一夜にして一人では管理できないほどの財産を手に入れる権利を得たのです。まさにシンデレラストoryです。ちなみに、配偶者や子どもなどの相続人は遺留分減殺請求権というのがあり、全財産を誰かに遺贈するという遺言があっても一部を引き渡せと言うことができますが、山本さんの親族にはそのような権利をもった相続人はいませんでした。

その後、お父さんが亡くなってすぐに山本さんも亡くなり、みずほさんは山本さんの遺言通りその全財産を受け継ぎました。税金も手続費用も沢山支払わなければなりませんでした。それを差し引いても十分すぎる財産が残りました。今までの生活から抜け出して、贅沢三昧も可能なくらいの額です。しかし、みずほさんは変わらずに質素な生活を続けています。バラックのような家からは引っ越しましたが、これまでの生活リズムを変える事なく、静かに新しい生活環境を受け入れようとしています。そんな謙虚なみずほさんだからこそ、神様はみずほさんをシンデレラに選んだのではないのでしょうか。

## 初参加自己紹介

### 広告の必要性

前回の青木塾に初めて参加させていただきましたシマクラです。参加された方々は錚々たる顔ぶれで、人とのコミュニケーションに難のある私は隅っこで縮こまっていました。そんな私に、皆さんとても気さくに話しかけてくださり、様々なお話を聞くことができ、楽しく貴重なひとときを過ごさせていただきましたこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、皆さんは絵画や広告のポスターなどに興味はありますか？絵画、所謂芸術と呼ばれているものと、広告とは全く別物ですが、共通しているところがあります。それは、「あってもなくてもいいもの」という認識です。戦時中など、生きること自体が困難な時、絵

## あをいるデザインスタジオ

シマクラ ヨウ

何ぞを描いていれは非難されてしまうことばかり。さらにモノがなかなか売れない昨今、企業で真っ先に縮小の対象とされる広告費しかり。それは即ち「あってもなくてもいいもの」だと思われるからなのです。私は現在グラフィックデザイナー、イラストレーターとして仕事をさせていただいておりますが、もともとは絵を描くのが好きで、画家を志していた時期もありました。言ってしまうえば私は20年以上にわたって、この「あってもなくてもいいもの」に多くの時間を割いていることとなります。困ったことに、絵画にも広告に対しても「あってもなくてもいいもの」であるとは思っていません。それどころか、「必要なもの」であると思っています。そう、絵画や広告には何か特別

な力があるはずだと思っているのです。

私には2人の子どもがおります。彼らは時折小学校の図工の時間に描いた絵を私に見せてくれます。彼らの絵を見ていつも感じるのは、絵というものの力。「ああ、楽しんで絵を描いていたんだな」とか、「元気がない絵だけど、何か悩んでいるのかな」など、彼らの絵を見ると感じるが多々あります。それは恐らく私に限ったことではなく、親は誰でも自分の子どもの絵を見て何かを感じているのではないのでしょうか。そしてそれこそが「絵画の力」であり、「必要なもの」だと思っています。だって、算数のテストを見て、「元気がないな」なんて思わないでしょう。

先日、とある会社の社長さんとお話をさせていただく機会がありました。その方が、「自分の仕事やプライベートが忙しくいっぱいいっぱいな時、その人の本音が見える」とおっしゃっていました。「私は余裕がない人に仕事を頼みたいとは思わない。いかに忙しく切羽詰まっていたとしてもどこかに遊びがなくてはいけない。」自分に余裕がないときこそ、何か遊びが必要。そう、まさに広告もそうではないか、とその時感じました。ものなかなか売れない今だからこそ、様々

なアイデアやサービスで、商品を消費者に伝えていかなければいけません。その商品に自信があるのであれば尚更です。いかに素晴らしい商品であったとしても、ただそれを真面目に伝えて



もなかなか消費者には響かない、届かない。そこに必要なのは消費者に何かを伝えるためのアイデアであり、そしてそれこそが「広告の力」と呼べる「必要なもの」なのです。機会があれば、美術館で絵を見てください。余計な知識はいりません。印象派でなくても、ピカソでなくてもいいのです。自分の子どもの絵だと思って見てみると、「この人は元気だったんだなあ」とか、「このモデルの人が好きだったんだなあ」なんて伝わってくるかもしれません。そして、駅や電車の中のポスターや、テレビのCMなど、広告にも少しばかり目を向けてみてください。そこには多くの人に関わり、考え尽くされたアイデアが詰まっているはずですよ。

最後になりましたが、青木塾の河辺さん、コミュニケーションに難のある私を心配し、青木塾に誘っていただいていたありがとうございます。深く感謝しております。

## 初参加自己紹介

# あんだんてテーマソングのできるまで

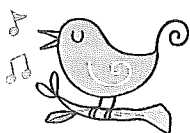
有限会社 あんだんて  
取締役会長 有田 浩三

2000年に「あんだんてシャンプー」の開発・販売を開始し今年で14年目を迎えました。この間、多くの方のお支えがあって今日に至っていますが、テーマソングの制作過程も不思議なご縁を感じます。プロデュースして下さったボイストレーナーの野口千代子先生とは2010年10月の例会で初めてお目にかかりました。2012年6月の例会に双子の童謡歌手「びのん」さんが初参加、野口千代子先生に師事することになりました。

2012年8月に渋谷FMの「エコチューンズ」というコーナーで野口先生がナビゲーターをされ、この番組に「あんだんて」と「びのん」さんをゲストとして呼んでいただきました。収録のために訪問した野口先生のスタジオに「びのん」さんも来ておられ、その席で「あんだんてのCMソングを作ろう」という話が持ち上がりました。野口先生も「びのん」さんもアトピーのため「あんだんてシャンプー」をご愛用いただいていた。その泡立ちのよさに野口先生は、強い印象を持っておられ「エコチューンズ」でも話題にしてくださいました。「びのん」さんも使用時のインスピレーションから「天使のあわふわシャンプー」を作詞・作曲してくれました。泡立ちのよさを「あわふわ」と表現するところに若い感性を感じます。とても親しみやすい曲で一度聴くとすぐ覚えてしまいます。2013年7月には、ラジオ日本の「スターリーミッ

ドナイトトリップ」で「びのん」さんがパーソナリティを務められ、これに合わせて「あんしん、あんしん、あんだんて」という30秒のCMソングを作詞・作曲してくれました。上記の2曲は、あんだんてのホームページ (<http://andantelife.co.jp>)の左下に載せています。お立ち寄りいただければ幸いです。一曲できるとどんどんイメージが湧いてきて「あなたにとどけるあんだんて」という少し長い曲も作詞・作曲済で2013年6月のライブで披露されました。いずれも野口先生の補作により一層魅力的な曲として完成しています。(CD化は未完)

「びのん」さんの作詞・作曲・歌、野口先生による補作およびプロデュース、編曲:Aliya Miharusaさんというチームが出来上がっているの、新しい会社のCM制作をお引き受けする体制ができています。あんだんてテーマソングは、ご愛用いただいているお客様が応援して下さっているのが特徴で育毛面からご愛用いただいている青木塾長も作詞・作曲の構想をお持ちと伺っています。楽しみにしています。最初に人のご縁の不思議さを書きましたが、青木塾長がフォークソング大会で優勝し、そのご褒美が野口千代子先生のレッスンを受けることでした。それが今日につながっています。夫婦で始めた小さな会社でマーケティングには費用をかけないことを基本方針としていたのが、テーマソングを3曲も持つことになるのは夢のような話です。



# 節水

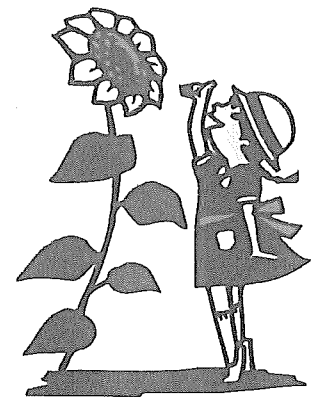
資源を大切にしよう、という取り組みは世界中で行われています。中でも水は天候に大きく左右され、地域によっては大雨で洪水の被害が出る場所があると思えば、雨が降らなくて干ばつで農作物に被害が出る場所もある、という具合に、均等には行きません。私の住んでいるラスベガスは砂漠地帯ですから、水はとて大切な資源です。今、アメリカでは各自の節水に頼るのではなく、最初から水道の蛇口やシャワーの噴出し口に細工をして、水量を制限しています。ニュー・イングランド地方から引っ越してきた当初は、シャワーの水が沢山出てこないこと。トイレの水が少なくて流れが悪いこと。に大変不満を覚えました。シャワーは慣れてくるとそれが普通になって、あまり気にならなくなったのですが、トイレの水の少ないことには、未だに困っています。見た目には今まで使っていたトイレと何も変わらないような気がしますが、新しいトイレのタンクは水が少ないのです。従って良く流れないので、トイレが詰まって困ります。結局、トイレの詰まりを予防するために水を2回流すことになり、これでは「節水」どころか「水の無駄使い」につながると私は一人で腹を立てていました。米国東海岸の友人に聞きましたところ、この動きは全米に広がっており、トイレを新しくする場合にはこの節水型トイレしか購入出来ないそうで、彼女は古いトイレを大切に使うと言っています。日本のトイレのタンクには「大」「小」と流す水量の選択ができるようになっているのが当たり

前ですが、アメリカのトイレの水洗タンク・レバーは一種類だけ。しかも、水量は多分日本の「大小」の真ん中の「中」くらいでしょうか？ これでは男性が使用した場合の「小」の水量では水の無駄使いになり、「大」の水量では水が不足することになってしまいます。これを改善すればもっと節水につながるのに…。と思っていた矢先、過日、カリフォルニア州のホテルに泊まって、初めてトイレのタンクに二つの水を流すレバーが付いているのを見て、私は大喜びしました。これは日本のアイデアの真似でしょうか？



本当の節水を呼びかけたいのなら、もっと早くから日本の水洗トイレのタンクを見習ったほうが良かったのでは?? とアメリカの節水政策にちょっと疑問を感じました。アメリカにこの「大」「小」の水量レバーの選択ができるトイレ・タンクが早く普及することを祈っています。日本では当然と思っていることでも、まだまだ他の国では「新発見」になることもあるのですから、日本のアイデアの出番は多いと思います。日本のウォシュレットはかなり普及してきて、高級な住宅にはどんどん取り付けられてきています。日本発トイレの新アイデアの次ぎに日本の良さを海外に輸出するのなら、風呂のお湯の「追い炊き機能」だと私は思っています。日本の皆さん、どうぞ日本の良さを海外にもっと輸出してくださいね。

次回の青木塾の開催は 10月10日(木)、  
講師は元シャープ半導体責任者、禿(かむろ)節史さんです。  
開催場所は小山台会館です。  
(地図URL : <http://www.koyamadai50.jp/access/index.html>)



青木塾PRESS Vol. 88  
2013年8月1日発行

発行/カワベ市場開発

<TEL・FAX> 045-961-6562

<E-mail> [ud7k-kwb@asahi-net.or.jp](mailto:ud7k-kwb@asahi-net.or.jp)

<HP> <http://www.aokijukunet/>

<ブログ> <http://blog.aoki-juku.net/>

編集後記

シニア問題を研究しているMさんに聞きました。シニアの集まりで人気のある人は今何かに夢中になっている人、人気のない人は過去の自慢話をよくする人。過去を語らず今を語ることが大切です。嫌われる三つの職業、元大学教授、元役人、元大企業の役員。子供に人気のない人は「君達に伝えたい」なる上から目線です。人気のある人は「君達と一緒にやろう」。さて皆さんはいかがですか。青木塾は昨年大学を出て今メジャーデビューを目指す双子の童謡歌手びのんさんから弁護士会や物理学会の重鎮まで参加しておりますが、その道の権威でも実に腰が低くお会いするたびに勉強になります。

青木塾は今回初めてあんだんて有田さん、北陸珈琲の小松さんのご好意で野口千代子さん指導のもとにびのんさんが作詞作曲してCMソングを創りました。なかなか良く出来ているので是非お聞き下さい。

(3ページ有田さんのHP記事参照) 青木塾は益々新しい組み合わせが生まれて来ております。(河辺)